

市長施政方針への 代表質問

令和3年第1回多摩市議会定例会では、市長の施政方針に対し、5つの会派が代表質問を行いました。

なお、市長施政方針は多摩市公式ウェブサイトで、代表質問はYoutubeでご覧いただけます。また、会議録は6月上旬以降、市内の各図書館や多摩市議会のウェブサイトでご覧いただけます。



令和3年度
施政方針



YouTube
多摩市議会チャンネル



乞田川の桜(撮影者：匿名希望さん)



新国会
いじま文彦

市民の命を守る！コロナに打ち克ち希望ある多摩市へ

◇市民の命、安全、暮らしを守る

- 問** コロナ禍における防災対策はどうか。
- 答** 「避難所に行く事だけが避難ではない」との考え方に立ち、避難所以外への分散避難、在宅避難やホテル、親戚や知人宅への避難の考え方を取り入れた。避難所の混雑状況周知システムの導入等、避難所の受入体制も充実させた。
- 問** コロナ禍で離職率が上昇し、有効求人倍率は大幅に低下しているが、どうか。
- 答** 就労支援と生活支援を車の両輪として支援する仕組みが必要だ。コロナ禍で市民が安心して暮らせる経済・生活基盤を持続可能なものとするよう対応する。

◇市制50周年～未来を切り拓く

- 問** 厳しい現状だが、未来を見据えたワクワクするまち

づくりを進めるべきではないか。

- 答** 聖蹟桜ヶ丘地区では、国土交通省の「かわまちづくり」に登録した。国の支援を得ながら、一ノ宮公園の整備拡張を狙っている。新たな公共空間を創出し、まちの賑わい、回遊性向上につなげたい。
- 尾根幹線沿道は、賑わい、雇用、イノベーションを創出する土地利用で、多摩ニュータウンの魅力や活力を高めるまちづくりの実現に向け、検討を進める。
- 問** 市役所本庁舎の建替えも進めるべきではないか。
- 答** コロナ禍で本庁舎を取り巻く状況は大きく変わりつつある。今後の行政のデジタル化に合わせ、将来を見据え、本庁舎に求められる役割、機能を検討し、基本構想の策定を進めたい。



公明党
三階道雄

新型コロナウイルス感染症の克服・市民の方々に安心と希望を！

◇新型コロナ対策を万全に！

- 問** 新型コロナの克服と経済・生活再建に全力で取り組み、安心と希望を届けなければならない。まずは緊急的な生活支援が必要であり「誰一人取り残さない」その気概で市は対応すべき。またワクチン接種は十分な人員体制と分かりやすい情報発信、さらに障がい者や移動困難者への対応を望むが、いかがか。
- 答** 全庁を上げた体制やコールセンターの充実、移動困難な方への対応も検討する。
- 問** 支援金等があるが必要とする方に支援や情報が的確に届くことや相談窓口の充実が必要。さらに雇用対策を望むが、いかがか。
- 答** 対象者に確実に届く情報発信に努め、雇用は市独自の対策を検討する。

◇安心・安全、希望の持てる多摩市へ！

- 問** 防災について、避難所運営や要支援者の避難支援個

別計画の対策を望む。

- 答** 避難所の充実に努め、避難支援は福祉専門事業者の協力を求めることを検討する。
- 問** 地球温暖化対策について市民全体に関わる事業を。また企業への支援要請を望む。
- 答** 環境ムーブメントを起こし覚悟をもって取り組む。
- 問** 駅周辺の活性化と若い世代に魅力ある街を望む。
- 答** 多摩センターについては多摩中央公園内に中央図書館整備・パルテノン多摩のリニューアルがあり家族が賑わう事業を展開。聖蹟桜ヶ丘駅は川辺の充実に取り組む。
- 問** 教育については、不登校が課題である。また新型コロナによる子どもたちの精神的な影響は大きく対応が必要ではないか。
- 答** 学校・家庭・地域で育むコミュニティスクールの充実を図る。